



学校だより

平成30年3月1日 第13号

さいたま市立大宮東中学校

E-mail omiyahigashi@saitama-city.ed.jp

未来くるワーク

校長 鏑木 隆

「未来くるワーク」とは、いわゆる「職場体験」のことです。この事業は、「職業体験を通して働くことの尊さを学び、生徒一人ひとりが夢と希望をもちながら、自己の将来について真剣に考える」ことを目的としたもので、キャリア教育の一環として行われています。

歴史は古く、さいたま市が合併する前の旧大宮市の頃から実施されており、豊かな心の育成を趣旨とし「3 days チャレンジ」と呼んでいた時期もありました。この事業の立ち上げには、本校の評議員であり青少年育成中部地区会会長の久世晴雅様にも多大なご尽力をいただいたと伺っています。その後、キャリア教育の重要性が叫ばれるようになり、名称を「未来くるワーク」として現在に至っています。東中では、1年生でこの事業を実施しており、今年度は、2月7日（水）～9日（金）の3日間にわたり実施しました。

子どもたちの健全育成には、学校や家庭の力だけではなく、地域社会の力が必要です。将来、社会で自立するためにも、この時期に地域の職場や身近な人々の仕事を体験することは、極めて価値の高いことだと思います。この趣旨にご賛同をいただき、今年度は地元を中心に43もの事業所に、東中生のためにご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

私も、職務の合間を縫って、民間事業所を中心に20か所ほどお礼とご挨拶に伺いましたが、事業主様からは、東中生の健全育成を願う温かいお言葉を頂戴したり、普段の学校生活では見られない、懸命に生き生きと仕事に励む子どもたちの姿を見たりすることができ、本当にうれしくなりました。もちろん、中には子どもゆえの未熟さから、事業主様にご迷惑をかけ叱られたこともあったかもしれませんが、それもまた大切な経験であると思っています。

しかし、もっと大切なのは、この事業を単なるイベント「行ったら終わり」にしないことだと思います。本校では、20ページ以上にもわたる「未来くるワークノート」を全員に配り、事前学習や事後学習の充実を図っています。先日の23日（金）にも、お世話になった事業所に生徒が直接出向き、お礼の手紙を届けたところです。子どもが書いた礼状の中には、『勉強では分からない仕事のつらさや社会の厳しさ』が、今ぼくの心の中に一番残っています。「楽しい仕事もありましたが、仕事の大変さを学ぶことができました」「今後は学校生活でも自分の役割をこなせるようにがんばろうと思います」等の言葉が並んでいました。東中生にとって、学校では得ることのできない本当に貴重な体験をし、多くのことを学ばせてもらったことがよくわかります。

この学校だよりが発行される日は、公立高校の入試日です。受検している3年生は、きっと全力を振り絞って、問題と格闘している頃だと思います。頑張ってください！

今回「未来くるワーク」を体験した1年生や館岩自然の教室に全力投球の2年生も1・2年後の今頃、単なる偏差値による進路選択ではなく、将来の夢や希望を踏まえて自分の能力や適性に合った進路を、主体的に選択できるようになることを心から期待しています。



小・中合同あいさつ運動（大宮小学校にて）

学校教育目標

輝く命 生きる力

目指す生徒像
目指す教師像
目指す学校像

気迫ある生徒
気概に満ちた教師
活気ある学校

生徒会小・中合同あいさつ運動を実施 2月6日(火)

本校生徒会と大宮小学校児童会が合同であいさつ運動を大宮小学校の校門で行いました。小・中連携や希望をもって中学校進学ができることなどを主な目的としています。生徒会役員はプラカードを作成し、ハイタッチをしながら小学生と笑顔で挨拶を交わしていました。 ※2日(金)に予定していた大宮東小学校でのあいさつ運動は降雪のため中止になりました。



ハイタッチであいさつ ♡

1年生 未来くるワークを実施 2月7日(水)～9日(金)

笑顔が弾ける1年生!



1年生は「未来くるワーク(職場体験活動)」を各事業所で実施しました。初日はみんな緊張の面持ちでしたが、2日目、3日目と体験をするにつれ、態度も立派になり、事業所の方々に褒められた生徒が多かったようです。成果として「コミュニケーションをとること、あいさつ・返事の大切さがわかりました。」「保護者への感謝の気持ちが湧きました。」「仕事をする達成感・充実感を味わうことができました。」などの声がありました。課題も多少ありましたが、今回の体験を今後の生活の中で発揮できれば成功だと思います。お世話になった地域の事業所のみなさま、ありがとうございました。来年度も宜しくお願いします。

とうちゃれ「音楽教室」を実施 2月10日(土)

今月のとうちゃれは、学習会に続いて学習アドバイザーの佐藤先生の「音楽教室」を開催しました。テーマは「詩の世界」で作詞や作曲についても学びました。以下参加者の感想を紹介します。「日本の歌は、意味が深く、音だけでなく歌詞に注意するともっと歌を楽しめるなど感じました。」「聞いたことのない歌でも、歌詞からとても温かい心を学べました。」「佐藤先生のおかげで、音楽について深く知ることができました。」



佐藤先生の熱心なご指導

会食サービス 女子バスケット部 2月10日(土)

今月の会食サービスは、女子バスケットボール部の2年生溝口瑞歩さん、佐藤麻利愛さん、野上朝花さん、渡辺莉月さん、小休りょうさんの5名が担当しました。1年生の時に続いて2回目ということもあり、クイズとダンス2曲を楽しく披露しました。以下感想を紹介します。「2回目の担当だったので、前回の経験を生かしてやることができました。」「ポカリダンスと恋ダンスをバスケット部5人で楽しく踊り、皆さんに喜んでいただき嬉しかったです。」「ダンスでアンコールをもらえるとは思っていませんでした。すごく嬉しかったです。」3月は女子卓球部が担当します。



かわいいダンスを披露

4校音楽のつどい 2月10日(土)

毎年恒例となった大宮小学校、芝川小学校、第二東中学校と大宮東中学校の4校による「4校音楽のつどい」が、大宮小学校の体育館で開催されました。本校の吹奏楽部員は、朝早くから会場準備や受付など大変頑張っていました。特別ステージ



4校合同で素晴らしい演奏を披露しました。

として行われた4校合同演奏では、少ない練習時間でありましたが「Wake Up!」という曲を協力して発表しました。本校のラストの曲は「宝島」でしたが、保護者が新調してくれた衣装を着て、いつも以上の楽しい雰囲気

で素晴らしい演奏を披露しました。

お知らせ 吹奏楽部は、3月18日(日)に市民会館おおみや大ホールでスプリングコンサートを行います。午後1時開場、1時30分開演、入場無料です。時代劇のテーマソングや懐かしい昭和の曲もあります。保護者、地域のみなさまのたくさんのご来場お待ちしております。

学校評議員連絡会等を開催しました。

2月8日(木)14:00から学校評議員連絡会及び学校関係者評価委員会を開催しました。各委員から今年度の大宮東中学校の教育活動についてご意見をいただきました。その中で「生徒が一生懸命に学校生活や行事に取り組んでいる。」「いじめの心配のない自慢できる学校である。」「会食サービスをはじめ、ボランティア活動に積極的に参加している。」などの評価をいただきました。その後、自治会長さんや民生委員さんも加えて15:10から健全育成懇談会を開催しました。ここでは、「地域のお祭りや夏休みのラジオ体操などにも、できる限り中学生も参加してほしい。」という意見が寄せられました。お忙しい中たくさんの皆さまにお集まりいただきありがとうございました。



学校評議員連絡会にて

専門委員会を開催 2月27日(火)

今年度最後の専門委員会が開催されました。各委員会で東中をよりよくするために、今年の活動に対する評価・反省が行われました。主な委員会のまとめを紹介します。「明るい学校にするために、心の乱れ・生活の乱れをなくすように努めました(生活委員会)」「生徒のみなさんが快適に生活できるように努力しました(整美委員会)」「毎月の会食サービスに向けて季節に合った掲示物が作れました(掲示委員会)」「朝の準備、授業進行を積極的に行うことができました(体育委員会)」「学校保健委員会という大きな発表を全員で責任をもって行えました(保健委員会)」「生徒のみなさんが読書に興味をもってくれるように活動を工夫しました(図書委員会)」「最上級生になるので、気持ちを新たに今年以上にみんなで協力して活動していきます(生徒会本部)」平成30年度も期待しています。



整美委員会の様子

部活動等の記録 ~栄光を讀えて~

○大宮剣道連盟さいたま市冬季大会

中学2・3年男子第1ブロック第2位 菅田涼太
第2ブロック第3位 山本直季

○平成29年度人権に関する標語 入選

1年生 草場昂希、中塩屋慧至 2年生 江草浩真、白鳥夢依 3年生 日塔健介、松山広大

○第25回一筆啓上賞 日本一短い手紙「母」へ 住友賞 2年 藤本頼和

母へ 「熱も出さず、風邪もひかないお母さん。そんな訳ないって最近気が付きました。」

